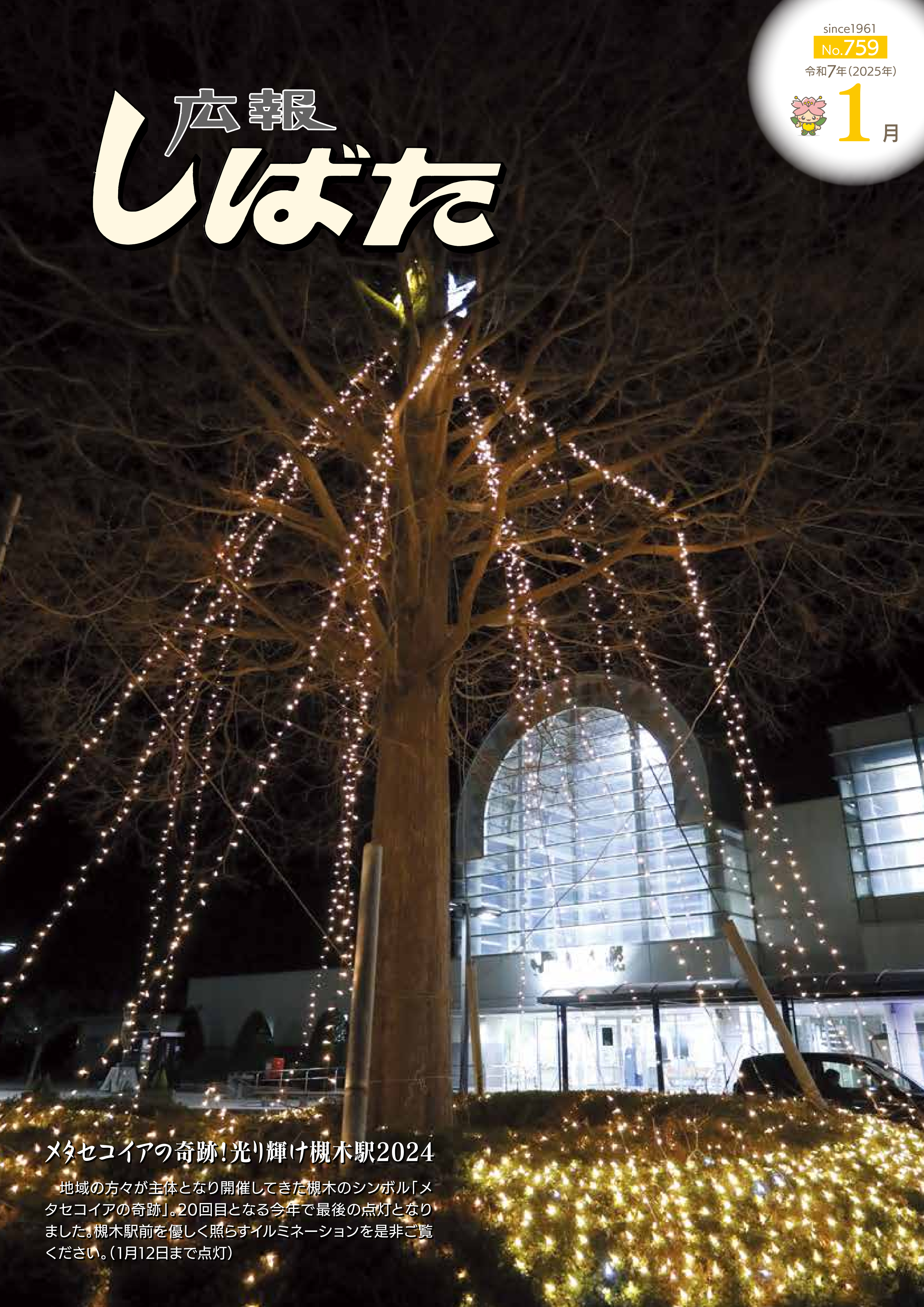
since1961
No.759
令和7年（2025年）
1月

広報しばた



メタセコイアの奇跡！光り輝け槻木駅2024

地域の方々が主体となり開催してきた槻木のシンボル「メタセコイアの奇跡」。20回目となる今年で最後の点灯となりました。槻木駅前を優しく照らすイルミネーションを是非ご覧ください。（1月12日まで点灯）

特集1

2025年 新年のごあいさつ

デジタル社会に向けてステップアップ

柴田町長 滝口　茂

新年おめでとう　ございます。

今年は巳の年です。蛇が脱皮して成長していくように、大きな変化の中で再び勢いを取り戻す、再生の年といわれています。

今年の大きな変化の1つが2025年問題です。団塊の世代800万人が75才以上の後期高齢者になります。

超高齢社会の影響は特に地方において深刻で、過疎から限界集落となり、そして自治体が消滅しかねない状況になっています。ここに来て、物価やエネルギー価格等の高騰による地域経済の疲弊、加えて日本列島を立て続けに襲う大規模な自然災害への対応で行政の守備範囲は拡大し、業務量は増え続け、住民ニーズも多様化、複雑化するばかりです。

一方でデジタル技術の進展は、インターネットが世の中にインパクトを与えた以上の速さで私たちの暮らしや地域社会や行政のあり方を変えようとしています。デジタル社会に住民が取り残されないようにするのも行政の役割となってきました。

世の中の変化が著しく将来の予測が難しい時代においても、着実にパラダイムシフトが起こり社会は進歩し続けています。

こうした時代の潮流の中で、柴田町もこれまで町道富沢16号線や鷺沼5号調整池等の社会インフラの整備、総合体育館の造成といったまちづくりの基盤を整備してきました。新たな時代の幕開けを迎えた今、柴田町は自然と共生した中でICTやデジタル技術を活用し、豊かな暮らしの実現を追い求めると同時に、生活や文化の質の向上や美しい街並みの整備を進めていきたいと考えています。今後のデジタル社会における柴田町のあるべき姿を見据え、柴田町の未来像を「柴田町デジタル田園都市構想」に描いてまいります。

まずは、人口減少に歯止めをかけるためにも、若者に住んでもらえる町を作っていく必要があります。令和7年度、柴田町は5つの重点項目を掲げ、若者に選ばれる町づくり向けた布石を打っていきたいと考えています。

1．安全で居心地の良いまちづくり

道路、公園、下水道といった基盤インフラの整備として、槻木市街地と四日市場、岩沼市を結ぶ道路の整備や、鷺沼5号調整池に入る鷺沼4号幹線の水路整備を行います。

また豊かな自然を活かし、歩いて楽しいウォーカブルな空間を形成するため、町道船岡西7号線等を整備します。自宅や職場を離れて心安らげる場所「サードプレイス」として、新図書館、しばたの郷土館、船岡城址公園ふもとの「みんなの広場」を一体的に整備することで、緑豊かな環境で人々が集い、読書やイベントなど思い思いの時間を過ごせる新たな賑わいゾーンの形成を目指してまいります。

一体的整備を進める郷土館エリア

2．子どもの成長を支援するまちづくり

放課後児童クラブ待機児童の解消を図るため旧第一幼稚園からの改修を進めてきた船岡児童館が今年4月にいよいよ開館します。

また槻木地区には定員72人の私立保育園「ハピネス

保育園柴田」が開園します。

　さらに老朽化した槻木保育所の再整備にあたり、民間の力を活用するため、令和7年度に事業者の公募を行い、新槻木保育所の建設用地として槻木体育館を解体します。

児童館への改修を進める旧第一幼稚園

3．健康で楽しいウェルビーイングなまちづくり

　健康づくりには、バランスのとれた食事や運動、質の良い睡眠を心がけるとともに、各種健（検）診によって健康状態をチェックすることが大切です。検診制度の充実や、健康施策の推進を通し、心も体も健康で幸福な人生が送れるウェルビーイングな社会の実現を目指してまいります。

　検診関係では、令和7年度から胃がんによる死亡率の減少に向けて胃内視鏡検診を新たに導入します。

　また認知症に関しては、セルフチェックリストの普及による認知症の早期発見、認知症サポーター養成講座による理解の促進を図ります。

　さらに、昨年12月1日に利用可能になった総合体育館を活用し、初心者スポーツ教室や成人シニアフィットネス教室などを開催することで健康づくりや体力づくりを進めます。

4．デジタル共創社会の実現

　近年のICT分野における急激な技術革新の浸透で経済社会システムやライフスタイルが大きく変化しました。こうしたデジタル社会の進展に対応するためには、町においてもデジタル技術を活用した行政サービスの向上や事務の効率化を図っていく必要があります。

　令和7年度においては、各種申請や予約、相談、情報発信など、オンライン申請が可能な手続きについて段階的に拡充し、「行かない窓口」「書かない窓口」の実現を目指します。さらに小中学校における情報学習端末の更新や、図書館でのICタグを利用した蔵書管理システムの導入に向けた準備を進めます。

　デジタル社会に乗り遅れることのないよう、行政と住民が共にデジタル化社会における課題を解決し、新たな柴田町の魅力を生み出しながら情報を発信してまいります。

5．行財政改革

　少子高齢化社会において増え続ける社会保障費により、財政の硬直化が進んでいます。

　このまま何も手を打たなければ危機的な状況に陥りかねないことから、時代の変化に合った行財政のあり方について再検討する必要があります。柴田町の持続的な発展を確実なものとするため、行財政改革を行い、限りある財源や資源や人材を最大限に有効活用してまいります。

　財政の健全化に向けては、「入るを量（はか）りて出ずるを制す」といった財政の基本に立ち返り、各施設における受益者負担の適正化や少額補助金の見直しを行います。また組織の統廃合として、令和8年3月末でむつみ学園での児童発達支援事業は終了いたします。さらに、民間活力を生かすため、槻木保育所の民営化、観光物産協会や社会福祉協議会の事業の在り方検討などを行ってまいります。

　最後に、これまで家庭や地域での困難や災害等については、家族の絆や地域の相互扶助の精神で乗り越えてきました。しかし、核家族化や地域のコミュニティの希薄化によって行政の役割は増大し、経常的な財政支出も拡大するばかりです。

　新たな時代の幕開けを迎えた今、これまでの組織、業務やサービスを見直し、行政のスリム化に向けた改善を進めていかなければなりません。ICTなどを駆使し、地域の情報を発信し、交流の場や機会を確保し、まちづくり活動を活性化する中で柴田町の活路開拓を進めたいと思っております。

　柴田町は今、時代に取り残されるか否かの転換点に立たされています。どうすればこれまで以上に住民から信頼される自治体に脱皮できるのか、自問自答しながら新たなステージに向けてステップアップしてまいります。

特集2

2025年を迎えて

新たな1年の始まりに10人の方から抱負を語っていただきました。

福田(ふくだ) 琉生(りゅうせい)さん 船岡中学校3年（15歳）

僕はサッカーの全国大会に出場し、貴重な経験を得ることができました。そこで僕は大きく学んだことがあります。それは、相手がどれだけ強くても挑戦することです。理由は、地区大会から全国大会までで強い相手とたくさん試合をしましたが、そのたびに自分達は挑戦者という気持ちを持って、一人一人が挑戦し勝つことができたからです。

僕はこの経験を生かして「何事にも挑戦して勝つ」ことを新年の抱負にします。なのでサッカーだけではなく、勉強からも逃げずに何事にも挑戦して常に成長を目指し、礼儀や感謝やあいさつをしっかりして、より良い選手、良い人間になれるよう努力します。

鈴木(すずき) 京子(きょうこ)さん（46歳）

昨年の春から入間田地区で新規就農し、いろいろな種類の野菜を作っています。ここ入間田地区は自然豊かで農業をするのにとても素晴らしい環境です。地域の人達もこの環境を愛し大切にしていると感じます。

昨年は夏場の暑さも厳しく失敗もたくさんありましたが、周囲の人たちに助けられ前に進む力をもらえました。感謝の一年でした。

今年の抱負は、地域の人たちに喜んでもらえる美味しい野菜を作ること、作った野菜が無駄なく提供できるように食品加工の勉強をすること、そして子どもたちが土に触れ合う機会を作り、農業をもっと知ってもらえるような活動を続けていくことです。一生懸命頑張っていきたいと思います。

皆様にとって素晴らしい一年でありますように。

秋山(あきやま) 周子(しゅうこ)さん

ウォーキングサークル「歩こう会」代表（66歳）

私は健康で長生きすることを一番の目標に生活しています。今年は知識や活動の場を広げ、少しでも長く健康な暮らしを続けられるよう頑張っていきたいです。

主に力を入れているのはウォーキングです。柴田町ウォーキングサークル「歩こう会」の代表として、月に1回誰でも自由に参加できるウォーキングを開催しており、今年で立ち上げから10年になります。健康で楽しく過ごせる人を一人でも増やせるよう、参加者を増やす工夫をしていきたいです。

また個人としても、ウォーキングだけでなく、町の講座などに積極的に参加し、栄養管理や病気の早期発見など、興味のある分野の知識を深めていきたいと思います。

柳沼(やぎぬま) 隼(はやと)さん 仙台大学4年（22歳）

小学校 3 年生で柔道を始めて以来、小・中・高校、そして大学と、この柴田町で柔道を続けてきました。

大学4年生となった令和6年度は男子副キャプテンを務め、団体戦では東北学生柔道大会で優勝、個人戦では東北学生柔道体重別選手権大会90Kg級で優勝し、全国大会に出場することができました。

ここまで成長できたのは、先生方、仲間、家族、そしてこれまで出会った多くの方々の支えがあったからこそと、深く感謝しています。

今年4月からは警察官として、自分の柔道に更に磨きをかけながら、幼い頃から住み続けてきたこの町での経験を活かし、社会に貢献していきたいと考えています。今度は私が、沢山の人の支えになれるよう努めたいと思います。

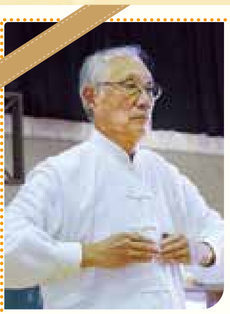
末永 加奈子さん（42歳）

「保育士の資格を生かし、働くお母さん達の助けになるには、どうしたらいいんだろう。」

産後復帰してから2年、心の中で考えていた矢先に、意気投合した仲間と4人で“0224狐杜藻食堂”という名のこども食堂を開始、早３ヶ月が経ちました。

子供の頃から絵が得意な私の役割は、当日お配りするメニューを描くこと。食材は主に活動に賛同してくださる方たちからのご寄付です。そんな協賛者さまのお気持ちも伝えられたらと工夫を重ねています。

今年の目標は”こども食堂は貧しい子が行く場所”というイメージから脱却する事です。始めてみると見えてきた様々な可能性。未知への扉がきっとあると感じています。

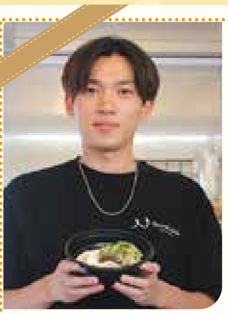


早川　秀一さん（74歳）

私は東日本大震災の時に東京で定年を迎え、生まれ育った柴田町に戻り、今年で15年目を迎えます。戻ってきた年に何かスポーツをと考えていた時に友人に誘われて太極拳を始めました。

太極拳は中腰で右足と左足に重心を移動させながらゆっくりと動き回るスポーツで、最初は筋肉痛に悩まされました。今でも時々筋肉痛になりますが、1回約2時間、週2回練習を続けています。

足腰強化や健康体づくりのために始めた太極拳でしたが、70代になると体のそっちこっちが故障してきます。故障すると初めて健康体でいることの大切さを痛感します。今年は改めて健康でいることに感謝し、太極拳を生涯スポーツとして仲間と楽しんでいきたいものです。



髙橋　楓悟さん　Novel café（23歳）

2024年5月にキッチンカーを起業し『かましうどん』という新グルメを作りました。仙台弁でかき混ぜることを『かます』ということからきており、うどんの上には仙台みそを含む18種類の素材で作った完全無添加オリジナル味噌、きゅうり、白髪ネギ、鶏むね肉チャーシューがのっています!

2024年はおかげさまで県内各地で出店させていただきました。2025年は巳年で年男になるので、より一層飛躍の年になるように県内各地キッチンカーで走り回りたくさんの方に食べていただこうと思います。

地元、柴田町の各イベントにも出店させていただき、柴田町でたくさんの方に愛されるグルメになれるように頑張ります。ぜひ、柴田町のイベントに足を運んでみてください。

2025年も Novel café、そして『かましうどん』をよろしくお願いいたします!

玉渕　純愛さん　西住小6年（12歳）

私の今年の抱負は、いろいろなことに挑戦することです。

私の夢は、ダンスの先生になることです。私は、4年生からダンス教室に通っています。5年生の頃、上手に踊れず発表会で失敗し、たくさん泣きました。そして、自主トレを始めました。一日一日、練習を大切にできる日が多くなってきました。今年は発表会がたくさんあるので、自主トレを続け、納得のいくダンスを踊れるように頑張ります。そして、小学校でお世話になった先生方、いつも応援してくれる家族に、挑戦する私を見せたいです。

私は、今年中学生になります。今までは、苦手なことから逃げ、自分でできないと決めて挑戦しませんでしたが、今年はいろいろなことに挑戦したいです。

伊藤　実雪さん（61歳）

たまたま読んでいた本で靴下編み専用の毛糸「ソックヤーン」を知り、靴下編みを始めました。独学で2年間練習し、靴下が編めるようになってからはどんどん楽しくなり、そのうちに靴下編みの楽しさを皆で共有したいと思うようになりました。

昨年、ゆる.ぷらスタッフの方からお声がけをいただき、初めて「くつ下編み講習」を開催することができました。今までパッチワークなどを教えた経験はありましたが、靴下は人によって編むペースも違い、持ち帰って作業することもあります。

今年は、参加者それぞれのペースや、作りたいものに合わせてお手伝いができれば良いなと思っています。私も編み仲間ができて嬉しいので、長く続けていきたいです。

川上　嵩仁さん　大河原産業高校2年（17歳）

私の2024年は、「大産商店※」という販売活動に積極的に取り組んだ年になりました。

最初に参加したきっかけは、単純な理由で、楽しそうだなと思ったからです。しかし、実際に参加してみると、ただ楽しいだけではなく、販売のノウハウや地域の方々からのお声がけなど学校の中では経験ができない貴重な体験ばかりでした。販売場所で物を売るだけでなく、POP広告の作成やイベントの広報活動、テント設営など様々な活動を自分たちで考えて取り組むことができました。

2025年は、さらに大産商店の魅力を増やせるように商品の開発やお客様のニーズの調査などに取り組んでいきたいと思います。今年も大河原産業高等学校をよろしくお願いします。

※自分たちの学校で作った野菜や加工物、地域の方々とコラボレーションして開発した商品を町内外のイベントなどで販売する活動。

特集3

「出会う　つながる　未来を創る」

柴田町新図書館基本計画を策定しました

問 生涯学習課　TEL55-2135

令和5年度に策定した「柴田町新図書館基本構想」をもとに、令和６年度は、プロポーザルで選定された設計者と柴田町とのパートナーシップにより、町民ワークショップや柴田町新図書館建設検討委員会で出された意見等を盛り込んだ基本計画を策定しました。今後は令和９年度中の開館に向けて設計業務へと移行していきます。

今回計画した新図書館の延床面積は、建設工事に係る予算及び近年の同規模・類似図書館の工事単価等を踏まえ、約1,500㎡程度とし、収容可能冊数を10万冊とします。また、バリアフリーや管理運営の観点において、誰にでも使いやすく、屋外空間とのつながりも作りやすい平屋建てとします。

施設サービスの基本的な考え方

基本理念
「出会う　つながる　未来を創る」

- 「誰にでも利用しやすく、心安らぐ居心地の良い図書館」
- 「知る・学ぶ・究めるを支援する、基本サービスが充実した図書館」
- 「子どもたちの想像力や心の豊かさを育む図書館」
- 「自由に人が集まり、交流し新たな賑わいを生み出す図書館」
- 「住民や地域の活動を支え、まちの未来を創る図書館」

主　な　機　能

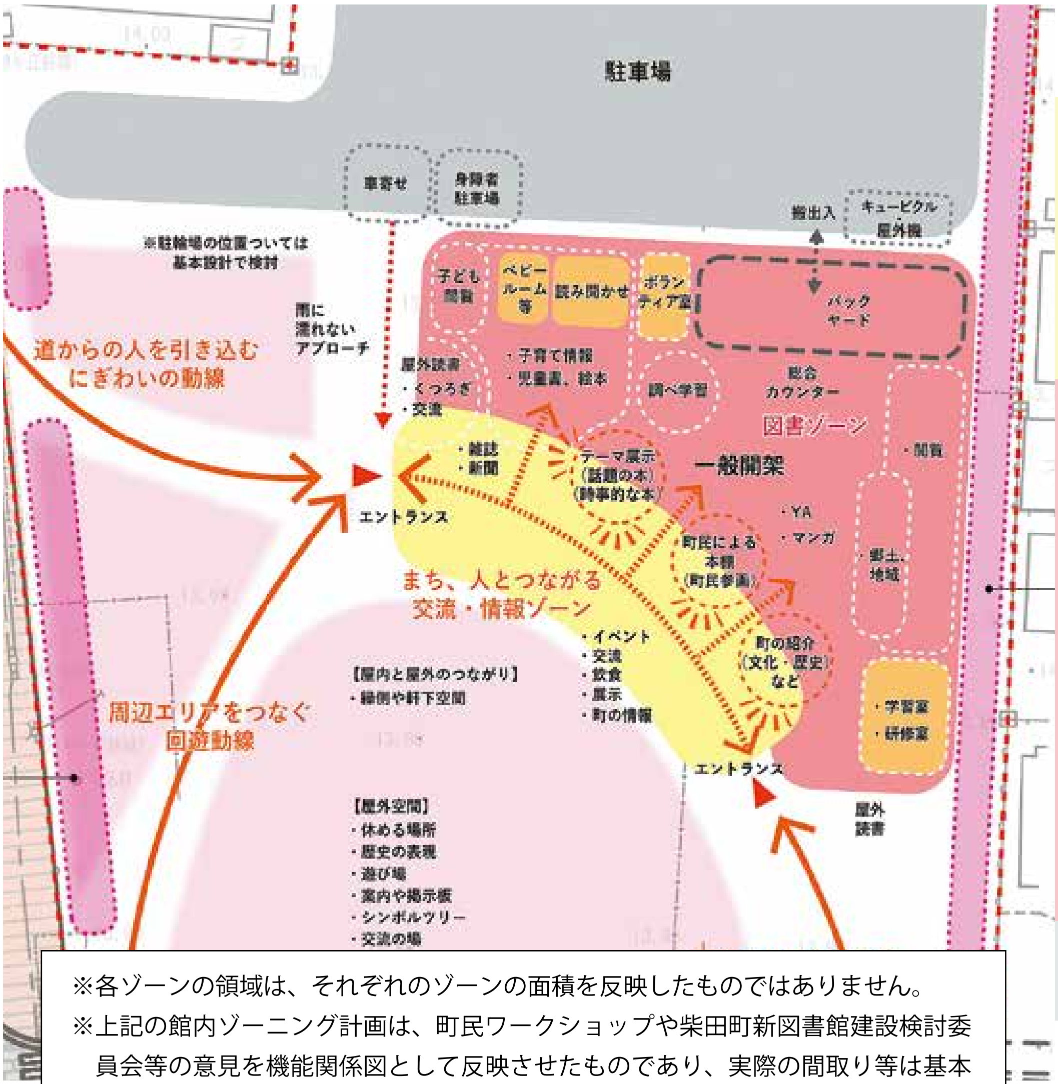
〇一般書エリア･･･
一般開架／ヤングアダルト(YA)開架／郷土資料コーナー／新聞・雑誌コーナー／閲覧スペース／学習室／研修室／対面朗読室／予約本コーナー　等

〇児童書エリア･･･
児童開架・閲覧スペース／読み聞かせコーナー／調べ学習スペース／子育て情報コーナー／児童用トイレ／授乳室　等

〇情報・交流エリア･･･
エントランスホール／情報コーナー／ギャラリースペース　等

〇管理エリア･･･
事務室／作業スペース／会議室／休憩室／更衣室／閉架書庫　等

館内ゾーニング計画



※各ゾーンの領域は、それぞれのゾーンの面積を反映したものではありません。
※上記の館内ゾーニング計画は、町民ワークショップや柴田町新図書館建設検討委員会等の意見を機能関係図として反映させたものであり、実際の間取り等は基本設計で検討します。

○町民ワークショップの主な意見

- 訪れた人の関心をひきやすい機能をエントランスから見える位置に設置
- 町民が多目的に利用できるスペースを検討
- 飲食可能スペースをエントランス付近に計画

- 子ども連れの親も本を楽しめる配架計画
- 年齢に応じて子どもコーナーの本をゾーニング（区分け）
- 子どもが落ち着いて本を楽しめ、かつ大人が見守りやすい配置計画
- グループ学習やPC利用も可能な学習スペースを計画
- 声を出せるゾーンと静かなゾーンのすみ分け
- ボランティア室は対面朗読室、録音室を兼ねた部屋として計画

- 車寄せ等から入り口まで雨に濡れないアクセス経路の計画

今後のスケジュールについて

令和６年度
- 今回策定した基本計画をもとに、建築構造や間取り、電気、給排水、空調など各分野における大まかな仕様を決定し、概算見積などを行う基本設計を行います。
- 基本設計の検討段階（間取り図の作成）で町民のみなさまのご意見が反映できるように、説明会を下記の通り開催します。

令和７年度
- 基本設計に基づき、工事施工に向けて詳細な設計図を作成し、工事費の総額を計算する実施設計を行います。

※設計の進捗状況については、広報しばたやホームページ等でお知らせします。

柴田町新図書館基本計画、柴田町新図書館建設検討委員会や新しい図書館を考えるワークショップで出た意見をまとめた「資料編」をホームページに公開しています。
二次元コードからご覧ください。

柴田町新図書館基本設計説明会

日 令和7年1月18日（土）
14:00～（2 時間程度）
所 柴田町役場 4 階　多目的ホール
※申込不要、どなたでも参加できます。

特集４

住民の皆さんの声を直接お聴きする
まちづくり住民懇談会を開催しました

令和6年11月1日・2日の2日間、町内3カ所で「まちづくり住民懇談会」を開催し、新図書館基本計画（案）やしばたの郷土館再構築、子育て支援の現状などをテーマに意見交換を行いました。

各会場でお寄せいただいた貴重なご意見などについて、一部を紹介します。

問／まちづくり政策課　TEL54-2111

懇談会のテーマ

○新図書館基本計画（案）について
○しばたの郷土館再構築に係る実施計画について
○子育て支援の現状について
○水道料金及び下水道使用料の改定について
○町道四日市場１号線ほか２路線道路改良事業について
○新総合体育館の利用開始について

会場別参加者数

開催日	会　場	参加者数
11/1	柴田町役場	17人
11/2	槻木生涯学習センター	22人
11/2	船迫生涯学習センター	29人
合　計		68人

懇談会のテーマ

新図書館基本計画（案）・しばたの郷土館再構築関連

Q　今回の懇談会で示された案は、新図書館建設検討委員会で検討された基本計画（案）からどのような部分が変更されたのか。

A　新図書館建設検討委員会でのご意見を踏まえ、基本構想との整合性を見直すとともに、具体的な方針を記載しました。また、学校図書の考え方、職員の増員による運営管理体制の強化を追加しました。

その他、委員長から建物と周辺整備のランドスケープデザインを記入すべきとの意見があり、併せて追加しています。

修正案は、全委員に配付の上確認いただき、委員長からも了承を得ました。

Q　新図書館（案）では、狭い面積の中に各コーナーを詰め込み過ぎ。郷土資料コーナーを広くしてほしいので、郷土館へ移してはどうか。また、情報コーナーも郷土館に含め、逆に図書館では学習スペースを広くしてほしい。

A　今回の新図書館などの整備は、町全体に賑わいをつくるというコンセプトで国土交通省に認めてもらった補助事業です。賑わいを生み出す大きな手段として、郷土館内に室内遊び場をつくり、図書館、みんなの広場と一体的に整備し交流の場を広げます。

各コーナーの面積案は、現在の建設規模から考えられる標準的なものとなりますので、今後、基本設計を進める中で専門家や住民の皆さんの意見を聴きつつ、最終的な面積をまとめていきます。

Q 郷土館内にある茶室の如心庵は、価値のある建物だと聞いている。交流事業で子どもたちの体験教室に使うのも良いが、適切な管理運営は続けてほしい。

A 今回の補助事業に組み入れることで、如心庵の不具合解消や修繕が可能になりました。施設の所管は町長部局となりますが、事業実施はしばたの郷土館が中心に進めることとしています。

子育て支援の現状について

Q 整備を進める船岡児童館は自由来館型になるのか。子どもの多様な居場所確保についての考え方は。

A 整備を進めている船岡児童館は、小学生から18歳までの高校生が利用できる自由来館型となりますが、実際には小学生が多く来館すると想定しています。

子どもの多様な居場所としては、新図書館の建設にあたり学習室を整備する予定であり、中高生が集まれる場所にしていく考えです。

また学校に別室を準備し、教室に一緒に居られない子どもの居場所を用意しています。登校が難しい子どもに対しては、船岡小学校近くに子どものこころのケアハウスを設け、学びの場を提供しています。

町道四日市場1号線ほか2路線道路改良事業関連

Q 町道四日市場1号線の歩道幅は2・5メートルを計画しているようだが、そんなに幅が必要なのか。

A 国の基準に沿って整備しており、人がすれ違うのに1メートルずつで計2メートル、余裕を持たせるためさらに0・5メートルの幅を取り、合計2・5メートルの歩道幅としました。接続する町道も同様の歩道幅となっています。

新総合体育館関連

Q 総合体育館は町の所有物ではないということだが町と総合体育館の関係について説明してほしい。

A 民間の活力、ノウハウを活用するため、県内初の官民連携事業による施設整備となりました。土地は町有地で、総合体育館の設計、建設及び運営は民間が行い、町が17年間、町の施設として借用した後、施設は町の所有となります。

その他・自由意見

町の財政運営について

Q 図書館整備などを進めた場合、この先の町の財政に心配な面がある。

A 町の借金はピーク時の約173億円から令和6年度には約150億円まで圧縮しています。図書館建設では、町負担分はこれまで図書館建設のために積み立てていた基金を活用しつつ、足りない部分は借り入れを行うことになります。借金は可能な限り少なくし、全体としても借入額が返済額より少なくなるような財政運営に努めます。

「花のまち柴田」について

Q 船岡城址公園を中心とした、今後の「花のまち柴田」の構想は。

A 整備関係は概ね完了しており、後は老朽化した手すりなどの取り換えを残すのみと考えています。

ただ、今年の夏にスロープカーが故障し、現在は運行を停止しているため、イベントにも影響しています。導入から28年が経過し修繕は難しいため、再整備が必要となっています。

町の権限が及ばない要望等について

Q 資料で「町の権限が及ばない要望等について」の説明があるが、町の権限が及ばないことは町に言っても無駄ということか。

A 河川でも道路でも、権限・責任と予算はセットになります。国や県が管理するものは、町内にあったとしても町長には対応する権限も予算もありません。

もちろん、町に権限がないことでも、要望が寄せられた場合には国や県にしっかりと働きかけています。

柴田町総合体育館　開館式を開催

12月1日(日)の柴田町総合体育館オープンに合わせ、オープニングセレモニーと記念イベントが開催されました。　問スポーツ振興課　TEL87-8706

柴田小学校　大黒舞

東船岡小学校　鼓笛隊

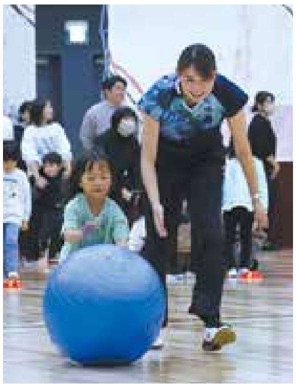
仙台大学　新体操競技

西住小学校　ソーラン

スペシャルゲスト

北京オリンピックバドミントン日本代表　小椋(おぐら)　久美子(くみこ)さん

親子運動遊び



バドミントン教室

健康情報クリップ

なるほど！みんなの健康ライフ シリーズ122

今月のテーマは、「**がん検診について**」です。

がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気

がんは日本人の死因の第１位であり、死亡数は年々増え続けています。
柴田町でも死亡数の１位はがんであり、約４人に１人ががんで亡くなっています。

（生涯のうち、がんと診断される確率）

男性	女性
62.1%	48.9%

➡ ２人に１人は **がん** になる時代！

資料：国立がん研究センター がん統計（2020 年データに基づく）

がん検診は毎年受けましょう

診断と治療の進歩により、早期発見・早期治療で治せるがんが増えてきました。
症状がなくても定期的にがん検診を受けることが大切です。

がん検診のメリット

1. **早期発見・早期治療により救命の効果がある。**
2. **症状が出る前に早期のがんを発見することができる。**
3. **がん以外の病気やがんになる前の病変を見つけることがある。**

※がん検診「異常なし」の判定は 100%正しいという訳ではありません。
少しでも気になることがあれば、病院を受診してください。

健康推進課からのアドバイス

検診に勝るがん対策はないと言われています。皆さんが自分自身の命を守り、大切なご家族の幸せを守るため、機会を逃さず定期的に受診してください。

“がんを防ぐための新 12 か条”（がん研究振興財団）を参考に、健康的な生活を心がけましょう！

がんを防ぐための新 12 か条

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙を避ける
3. お酒はほどほどに
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. **定期的ながん検診を**
11. 身体の異常に気づいたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ることから

問健康推進課　℡55-2160

広　告

広　告

まちかどNEWS

イベントで賑わう槻木駅前

20年間の思いを込めて　最後のメタセコイアの奇跡！

12月7日(土)、槻木駅前において今回で最後となるメタセコイアのイルミネーション点灯式が行われました。点灯式に先立ち、コーラスやよさこいなどが披露され、キッチンカーも立ち並び多くの人で賑わいました。

実行委員会の志子田委員長は「住み良い地域を目指してイベントを開催してきましたが、メタセコイアの点灯は今年で最後です。槻木を盛り上げていくため、来年からは違う形でイベントを実施していければ」と話していました。

槻木駅西口ケヤキのイルミネーション

小中学生の書画から感じる異国の文化

11月14日(木)から17日(日)まで、槻木生涯学習センターで「柴田町・中国丹陽市・鎮江市文化交流書画展」が開かれ、町内小中学生と中国姉妹都市の子どもの書や絵画が展示されました。

訪れた方は「中国の子どもたちの書を見ましたが、小学生とは思えない達筆で、さすが漢字の国だと感じました。日本とは違う作風を見られて面白いですね」と話していました。

中国の小中学生の作品を鑑賞する来場者

広　告

広　告

町の新たな特産品をゆうパックに乗せて

NEWS

参列者による鏡開きが行われました

11月25日(月)、豊屋食品工業株式会社で「菊芋きんぴら」のゆうパック出発式が行われました。商品は県南地域で生産された菊芋を使用しており、日本郵便のネットワークにより全国に発送されます。

奥津幸徳(おくつゆきのり)代表取締役は「菊芋は食物繊維などが豊富で健康にも良い食品。日本郵便様の協力をいただき販路を広げ、町の新たな特産品として知名度を上げていきたい」と話していました。

雨乞(あまご)の柚子を限定販売

NEWS

11月24日(日)、柴田町観光物産交流館さくらの里で「雨乞の柚子販売会」が開催されました。販売会は生柚子のほか、雨乞の柚子を使用したジャムやポン酢、アロマオイルなど町内外から柚子の加工品の出店もあり、大勢の人で賑わいました。

生柚子販売は大盛況で、購入した町内の女性は「今年初めて来ました。雨乞の柚子は風味が格別だということで、ジャムや漬物の風味付けに使おうと思います。柚子はいろいろ使えて楽しみです」と話していました。

生柚子は飛ぶように売れていました

自分たちが製作した金属コマで真剣勝負

NEWS

真剣勝負を終え、それぞれの健闘をたたえ合いました

12月7日(土)、槻木生涯学習センターで全日本製造業コマ大戦東北地区学生大会が開催されました。宮城・山形の高校生24チームがエントリーし、製作したコマを用いて熱戦を繰り広げました。

優勝した山形県立村山産業高校リーダーの高橋京吾(けいご)さんは「仲間と試行錯誤を重ね、何度も作り直して大会へ挑みました。優勝できるとは思っていなかったので、とても嬉しいです。遅い時間まで協力していただいた先生に感謝します」と話していました。

広　告

広　告

こうほう 文芸

俳句

全天の螺子を締めたる初明り　石母田星人

沈丁花開かんとして光り合ふ　鎌形清司

探梅や背に日差しと水音と　齋藤善則

着膨れて活断層の上にあり　鈴木三山

福詣筋肉痛の福も付き　鈴木清子

一椀の粥のほつこり良寛忌　鈴木幸子

春の海耳の奥まで這ふ汽笛　峠三枝子

立春の祝詞に交じる嬰の声　芳賀紀子

除夜の鐘さもない背伸悔ひだらけ　韮神葛

極寒やお粥炊く祖母の背いとし　鈴木さちこ

悠然と蔵王連峰雪高し　西船迫　中野西範子

しぐるるやミニ富良野ゆく歩人の群　西船迫　安ケ平奈津枝

川柳

値上がり分力を込めた年賀状　北船岡　日下功

忙しく師ではないけど小走りで　槻木　村上紫寿

階段を登って降りて体力作り　船岡　阿部美代子

ポカポカと湯たんぽうれし冬の朝　船岡　小林夢子

君主役冬眠覚める巳年かな　船岡　阿部弘子

ついに来た後期高齢保険証　西船迫　安ケ平良三

腰かけて紅茶飲みつつ壁に陽が　船岡　安藤節子

壁に耳あり年収に壁あり　四日市場　鳥井崎

裏表見せては落ちる色もみじ　西船迫　後藤文子

巳年こそ三日坊主から抜け出して　槻木　遠藤麗子

短歌

衿を立て寒さをしのぐ行き帰り　指先冷たし吐く息白い　上名生　平間純子

隆景が負け兄元春の勝ちし日ぞ　わが過ぎし日に似たるを見しむ　上名生　八乙女由朗

穏やかな早春の朝を仰ぎて　初日が照らす蔵王連峰　槻木　白石光子

練習も見た事もない音楽会　うまく弾けたか孫のピアノは　船迫　森田眞六

曙に東の空は紅に　見上げる日の出に年の瀬逼る　槻木　平間三郎

八十路過ぎ程よく忘れ生きてゆく　今更だけどそれもいいかな　船岡　伊藤タイ子

「すごい」「きれい」初めての青に興奮す　急ぎスマホに小雨止む空　西船迫　星裕子

あかね空今日は良い日になるようだ　新生活へ孫の旅出ち　船岡　可沼妙子

酔芙蓉さいごの一輪咲きし朝　優麗な美に惜しみて別れ　船岡　沢田順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたいという方は、はがきなどで **1月10日(金)**までご応募ください。紙面の都合上、掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。**(お一人さま１作品まで)** 問まちづくり政策課　TEL 54-2111

広　告

広　告

しばたのスポーツ少年団

町内で活動するスポーツ少年団を紹介します。「スポ少」で友達と一緒にいろいろなスポーツを楽しもう！

秀練会 槻木空手道場

種 目 名　空手
団 員 数　20 人（年中児から）
活動場所　槻木体育館
活動時間　水・土曜日
少年部 17:00～19:00
一般部 19:00 ～ 21:00

@SHURENKAI_TSUKINOKI
Instagram

強い心身を育てる空手道

仲良く楽しく活動しています。先輩・後輩とコミュニケーションがとれるので、言葉遣いや心遣いが自然と身につきます。試合で勝った嬉しさ、負けた悔しさを通じた心の成長、自信の確立、挑戦することを目標に稽古しています。気軽に見学に来てください！

問 0224-52-1529（佐々木）

柴田和道会

種 目 名　空手
団 員 数　14 人
活動場所および活動時間

火曜日：船岡生涯学習センター		19:00 ～ 21:00
木曜日：北船岡集会所（幼少部）		16:00 ～ 17:00
土曜日：船岡体育館		18:00 ～ 21:00

一緒に強くなろう！

柴田和道会は、1980 年に発足しました。

幼少部のスポーツ少年団と、一般会員が中心の柴田町体育協会の両方に所属しており、親子で学ばれる方が多数いらっしゃいます。

見学・体験は、いつでも大歓迎です。ブログ「空手道柴田和道会」で活動の様子など毎日更新中ですので、ぜひご覧下さい。

和道会ブログ

問 090-2889-1890（堀内）

広　告

広　告

思いを胸に Vol.132

日々の変化を見逃さず、子どもたちの自信を育てる

ほっとファーム株式会社
吉田（よしだ） 彩香（あやか）さん（30歳）

今回は、放課後等デイサービスで子どもたちのサポートを行うほっとファーム株式会社の吉田彩香さんを紹介します。

経歴について教えてください

子どもが好きだったことと、震災を通して福祉の仕事に関心を持ったことがきっかけで、大学卒業後、児童養護施設に就職しました。その後今の会社に転職し、現在4年目になります。

業務内容について教えてください

小学生から高校生までの障がいのあるお子さんを受け入れ、放課後や学校休業日に活動の場を提供しています。子どもたちの自立支援、発達支援のため、みんなでゲームをしたり、個人で勉強をするなど、一人一人に合わせた活動を日々考えています。

仕事のやりがいは何ですか

自分が伝えたいことが子ども達に伝わり、できなかったことができるようになるなど、日々の変化を見られることがやりがいです。

以前、どうしても宿題をやりたがらなかったお子さんが、毎日声がけをして一緒に取り組むうちに、嫌々ながらも宿題を始めてくれたときはとても嬉しかったです。

仕事で大切にしていることは何ですか

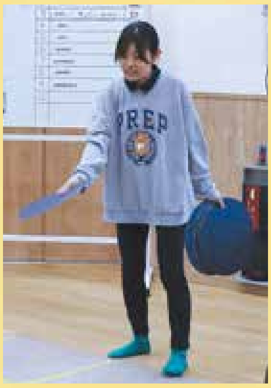
日々の変化を見逃さないということです。少しの環境の変化で気分が変わってしまう子もいます。この子はこういう子だと決めつけず、個性や状況に合わせた対応を心がけています。

また、子どもたちに自信を持ってもらうためには褒めることが大切だと考えており、日々の少しの進歩を見逃さず、当たり前のことでも褒めるようにしています。

今後の目標を教えてください

町、地域を巻き込んで、大人が子どもたちを見守り、褒めてあげられる環境をつくっていきたいです。褒めることで子どもたちの自己肯定感を高め、将来いろいろなことに挑戦できるようにサポートしていきたいと思っています。

笑顔で明るく話しながらも、子どもたちを思う真剣な気持ちが伝わってくる吉田さん。これからも頑張ってください。



オセロゲームの説明をする吉田さん

ほっとファーム株式会社
柴田町槻木白幡2丁目2-12
TEL 87-7076

平成24年設立。障がいや難病を持つ方の就労支援や相談業務、放課後等デイサービスなどを営む。

人口と世帯数
（令和6年12月1日現在）

36,336人（前月比11人増）	18,097人（前月比3人増）	18,239人（前月比8人増）	16,353世帯（前月比20世帯増）

広報しばた
Shibata Town Public Relations Magazine 1 January 2025

特集
1 2025年新年のごあいさつ
2 2025年を迎えて
3 柴田町新図書館基本計画
4 まちづくり住民懇談会

2025年1月1日（759）号 発行／宮城県柴田町 編集／まちづくり政策課
〒989-1692 宮城県柴田郡柴田町船岡中央2丁目3番45号 TEL0224-54-2111
FAX 0224-55-4172 URL https://www.town.shibata.miyagi.jp/